



# 理念を社員に浸透させるには、 きちんと流れを作ることが重要

測量や設計、計測など、建設に関わる広範囲な調査やコンサルティングを行う第一測工株式会社。先進の技術力をいち早く取り入れて高品質な顧客サービスを実現する同社は、県内の業界トップ企業の一つです。今回は小堀俊明社長に話をうかがいました。

## 平

成15(2003)年に会社の基本である経営理念「社員幸福の追求と、快適な国土づくりへの貢献」を定め、その具体的な方針として「短期方針」を策定している小堀社長。短期といっても3、4年ごとに変わっているそうです。

「経営理念と短期方針を受けて、各部門ごとに毎年目標を設定しています。そしてそこから個人目標を定め、それをもとに企業活動を行っています」つまり、経営理念や短期方針をきちんと理解していないと、個人目標を立てるのが難しいということ。会社の理念がき

ちんと浸透する仕組みともなっています。また、5月と11月に全社員ミーティングを行い、ここで必ず理念を確認しています。

「社員として守るべき7つの活動指針」も定めています。コミュニケーションや業務効率のアップ、自主性など、社会人・企業人としてなすべき内容です。こういうことを、頭の片隅に置いて、仕事してくださいということです」

ホームページには「1カ月連続休暇をとれる会社にする」という社長ビジョンも掲載されています。「なかなか実現できないのですが」と苦笑する小堀社長ですが、同社が「人」を大切にしている気持ちが伝わってきます。

「企業理念にある「社員幸福」には、社員の家族も含まれています。会社に関わるすべての人が幸福になる道を追求したいと考えています」

また、社会貢献に積極的なのも同社の特徴です。省エネは以前から取り組み、二酸化炭素排出削減では、12年間で杉の木2万3千本以上が吸収したのと同等の効果を実現しています。また近年はカーボンオフセットにもチャレンジするなど、先進的な環境対策の試みをさまざまに行っています。

「企業活動や生活で出す二酸化炭素を削減する努力は、企業として不可欠」と、当たり前のように話す小堀社長。同社のスタンスは、決して力こぶを入れるようなものではなく、自然体でさりげないものです。それが結果として、大きな成果につながっているのでしょう。

地理情報のGISシステムや、測量機器の3Dレーザースキャナーなど、最新のテクノロジーも早くから導入。技術力を掲げる企業として、県内でも常に注目されています。

「企業理念を定めるだけでは、なかなか浸透しません。方針や行動指針、部門や個人の目標設定、全体ミーティングなど、きちんと流れを整理して、実行しやすくすることも必要ですね」と話す小堀社長でした。



月2回行っている、本社周辺の清掃活動



5月と11月に行っている全社員ミーティング



県内でいち早く導入した3Dレーザースキャナー



第一測工株式会社本社屋

### 経営理念

社員幸福の追求と、  
快適な国土づくりへの貢献

### 短期方針

- ①成果品+a  
成果品質を高め、顧客満足を目指す。
- ②資格取得  
会社の技術力の証明として、資格を取得する。

### Information

第一測工株式会社  
代表取締役社長 小堀 俊明  
設立/昭和27年5月  
所在地/宇都宮市新町2-6-10  
☎ 028-633-0488  
☎ 028-637-3098  
http://www.d-sokko.co.jp



第一測工株式会社  
代表取締役社長 小堀俊明氏